

議会だより おかがき

No.108 6月定例会 平成28年7月25日発行

臨海荘の営業再開に向けて ● 2
町政を問う ● 4～5



定例会 概要

臨海荘の営業再開に向けて

平成28年度 岡垣町一般会計補正予算を可決

総額97億3648万2千円に

第2回定例会は6月3日から14日までの会

期で開かれ、平成28年度一般会計補正予算(第1号)を含む10議案について審議・議決しました。

提案された議案

- ① 岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ② 岡垣町子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例
- ③ 岡垣町観光施設臨海荘設置条例の制定について
- ④ 岡垣町観光施設臨海荘の指定管理者の指定について
- ⑤ 専決処分承認を求めることについて
平成27年度岡垣町一般会計補正予算(第7号)
- ⑥ 平成28年度岡垣町一般会計補正予算(第1号)
- ⑦ 専決処分承認を求めることについて
岡垣町税条例等の一部を改正する条例
- ⑧ 専決処分承認を求めることについて
岡垣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ⑨ 岡垣中学校屋内運動場内部改修工事請負契約について
- ⑩ 専決処分承認を求めることについて
平成28年度岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算(第1号)

5248万2千円を増額し、

総額97億3648万2千円に

主な使いみち

- コミュニティ助成事業 163万円
- 農地耕作条件改善事業補助金 1915万円
- 臨海荘指定管理委託料 1096万円
- まち・ひと・しごと創生事業検討委託料 407万円

全員協議会の主な議題

- ① 岡垣町公共施設等総合管理計画白書編
- ② 平成27年度 岡垣町発注工事(11月～3月)

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	小野元次	市津広海	西美千代	下川路勲	広渡輝男	三浦進	平山正法	曾宮良壽	森山浩二	神崎宣昭	木原大輔	太田強
岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	6/3	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町観光施設臨海荘設置条例の制定について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町観光施設臨海荘の指定管理者の指定について	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて －平成27年度 岡垣町一般会計補正予算（第7号）－	6/3	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町一般会計補正予算（第1号）	6/14	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて －岡垣町税条例等の一部を改正する条例－	6/3	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて －岡垣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例－	6/3	賛成多数承認	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
岡垣中学校屋内運動場内部改修工事請負契約について	6/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて －平成28年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）－	6/14	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	6/14	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



観光ステーション北斗七星



臨海荘



岡垣中学校体育館



曾宮

戦略的広報広聴を

町長

常に改善に努めている



曾宮 良壽 議員

曾宮 町の各種行政機関の広報業務全般の予算と総合的把握及び調整はどのようにされているかお尋ねします。

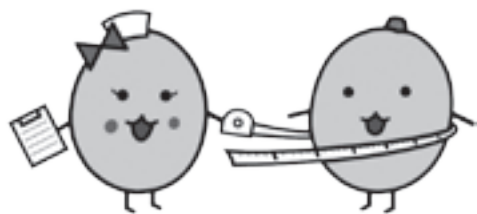
町長 今年度の広報業務全般の予算は、約2,000万円です。サンリーアイや社会福祉協議会などの関係団体においても機関紙等による広報活動が行われていますが、各団体にそれぞれの考えがあり、すべてを管理統合することは困難であると考えます。

また、町が実施している広報活動には、広報おかがき、チラシなどの紙媒体のほか、公式ホームページ、フェイスブック、情報誌などへの情報提供も行っています。さらに、

今年度中にはLINEによる情報配信も計画しています。

曾宮 広報広聴の分野での専門的知見の活用についてお尋ねします。

町長 広報おかがきに対する助言を広報アドバイザーに委託し、写真や構成、レイアウト、文章表現など、専門的見地から助言、指導をいただきながら、読んでもらえる広報となるよう、常に改善に努めています。



曾宮 健康づくり10カ条の意とすることをお尋ねします。

町長 健康づくり10カ条は、第2次健康増進計画の策定時に、特に重点的に取り組んでいたいただきたい町民共通の健康づくりのテーマを、わかりや

平山

子どもの貧困状況は

町長

全国的に進行している



平山 正法 議員

平山 子どもの貧困には、親の貧困、国民全体の貧困が根本要因としてあります。国の責任で施策を進めることは当然重要ですが、自治体でも取り組みが必要があります。岡垣町を含めた子どもの貧困状況について、どう認識されていますか。

町長 厚生労働省によると、平均的な所得の半分を下回る

すくスローガンとしてまとめたものです。この健康づくり10カ条をさらに広め、健康に対する意識を高めることで、多くの町民に健康寿命の延伸や健康づくり活動に参加していただけるよう努めます。

世帯で暮らす子どもの割合は増加しています。また、内閣府の「子ども・若者白書」でも、子どもの貧困率が上昇傾向にあるとされており、全国的に子どもの貧困が進行していると考えています。

岡垣町の子どもの貧困状況については、調査していないため把握していませんが、生活保護の保護率、就学援助の対象者の割合や児童扶養手当の受給者数の推移を見ると、ほぼ横ばいの状況となっています。

平山 子どもの貧困の連鎖を断ち切るためには、教育支援



授業の様子

が欠かせません。貧困による学力の低下以外にも一般的な学力の低い生徒に対する対策も重要です。岡垣町の取り組みについてお尋ねします。

教育長 学習内容の理解や習熟の程度に応じて、個人に合った補充的な学習を行うことで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っています。特に学習の遅れがちな児童生徒を対象に、夏休み期間中や放課後等を活用して、補充学習を行っています。これは、学力補充が必要な全ての児童生徒を対象としたもので、貧困対策として行っているものではありませんが、引き続き取り組む必要があると考えます。

西

女性の視点に立った防災体制を

町長 女性の参画を推進する



西 美千代 議員

西 私たちは先般の熊本地震で、九州でも大地震が起きても不思議ではないということをお願い知らされました。男女共同参画の視点に立った防災体制の必要性和岡垣町の現状の取り組みについてお尋ねします。

町長 岡垣町では、東日本大震災の教訓を生かし、防災会議条例を改正して現在、女性委員4名を任命しています。また、避難所における女性相談員の配置や自主防災組織への女性の参画推進など地域防災計画に反映しています。

西 日中、多くの場合、家にいるのは女性です。防災の知識があれば落ち着いて判断

し、行動することができません。

具体的には、女性の防災士をふやす取り組みや、女性防火クラブへの活動支援が必要だと思えます。今後の取り組み計画はどうなっていますか。

町長 平成27年度から防災士育成補助制度を創設し、各校区に防災士を2名ずつ配置する予定です。男性に限らず女性の防災士育成についても積極的に取り組んでいきます。また、防火・防災クラブと



防災訓練の様子

町長 莫大な事業費を投入したJR海老津駅南側道路等整備事業が本年完成しますが、海老津・白谷線と自由通路の有効活用をどのように考えられているのかお尋ねします。



広渡 輝男 議員

も平常時からの啓発活動や災害に備えた訓練参加などを通じ、連携を深めていきます。

西 次期男女共同参画基本計画には、女性の視点に立った防災についての実行計画等を入れて欲しいと思えます。

広渡

まちづくりを促進する3つの視点から

町長 重点プロジェクトを優先に取り組む

町長 現計画にも防災に関する女性の参画等について位置づけ、取り組んでいきます。次期の計画については、現在の状況を検証し、進めていきます。

と生活の利便性を向上させます。

広渡 駅南側と北側の広場の連結に伴い、長年の懸案事項であった中心市街地の活性化へ向けた具体的な取り組みについてお尋ねします。

町長 本事業の完成に伴い、海老津駅を中心とした南側の開発と北側の区画整理事業の促進が今後の重要な課題と認識しています。

広渡 観光産業の振興へ向けたワンストップサービスの機能を高めるため、主要な役割を担う組織・仕組みづくりが急がれます。岡垣町の特徴を

海老津駅南側広場完成イメージ (南側からの眺望)



次の一手は？

生かした観光産業の「見える化」・プラットフォーム化についてお尋ねします。

町長 国は観光地域経済の「見える化」推進事業に取り組みとしており、その取り組みの経過を注視していきますが、一般社団法人岡垣町観光協会がまさにその役割を担うものと考えています。

広渡 ふえ続ける空き家の環境を保全するため、空き家対策管理事業の取り組みが必要と考えお尋ねします。

町長 空き家対策を総合的かつ計画的に実施するため、官・民・学で組織する協議会を設置し、「空家等対策計画」の策定を検討します。

委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

日時 平成28年5月18日
 研修先 北九州農業協同組合（JA北九本店）
 視察の目的 農業振興について

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）が関係国で基本合意されました。

この協定が我が国の農業にどのような影響を及ぼし、どのような対応が図られようとしているのか、JA北九で研修を受けました。我が町の農業の行き先を考える上で重要な位置を占める内容でした。

市町村別の農業振興計画や農業協同組合法の改正等、農業の現場が大きく変わりつつあることを認識できた研修でした。



全員協議会

日時 平成28年6月9日
 場所 第2・3委員会室
 研修の目的 土地区画整理事業に関する基礎知識の習得

最初に土地区画整理事業の基礎的な知識として「事業の仕組み、施行者、資金計画、事業の流れ、その効果」などまちづくりの課題をどのように解決していくのか事例をあげた講習を受けました。

その後「岡垣町中心市街地地区」におけるこれまでの検討結果の概略説明を受けました。

町と議会の共通認識のもとに、今回の研修の成果を念頭に置いて議論する必要があります。





議会の動き

議会の動き

3月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
3月25日	議会広報	議会だより編集
4月 5日	議会広報	議会だより編集
4月12日	議会広報	議会だより編集
4月18日	文教厚生	閉会中の継続審査
4月27日	議会運営	議長からの諮問
4月27日	議会運営(協)	住民懇談会
5月13日	文教厚生	閉会中の継続調査
5月13日	文教厚生(協)	住民懇談会 行政視察研修
5月16日	その 他	新潟県十日町市議会視察受け 入れ
5月18日	総務産業	視察研修 (JA北九)
5月24日	議会運営	第2回定例会
6月 3日	本 会 議	6月定例議会開会 上程・委員会付託
6月 3日	議会広報	議会だより編集
6月 6日	本 会 議	一般質問 (4名)
6月 7日	総務産業	付託案件審査
6月 8日	文教厚生	付託案件審査
6月 9日	全員協議会	公共施設等総合管理計画白書 編ほか
6月 9日	議会運営	追加議案
6月10日	連合審査会	付託案件審査
6月14日	本 会 議	追加議案上程・議決 6月定例議会閉会
6月14日	議会広報	議会だより編集

議会住民懇談会

日 時 平成28年6月30日 午後7時～9時
場 所 東部公民館

平成28年度の議会住民懇談会を議員全員参加で開催しました。第一部では平成28年度岡垣町予算の概要説明を行い、第二部では総務産業常任委員会は地域情報伝達無線システム(防災無線)を、文教厚生常任委員会は子育て支援を主なテーマにして意見交換会を行いました。
参加者の皆さんからは活発な意見や質問が出され、有意義な住民懇談会となりました。



岡垣町の

ここはどこ？

この寺は、最初は三里松原の高台、高浜の辻に建立された。初めは、^{ほっそうしやう}法相宗の大寺であったが、19世^{くうよしやうにん}空誉上人の時に浄土宗に改められた。

明応3年(1494年)、兵火に^{かか}罹り^{こぼ}悉く灰燼に帰したが、後世に再建された。

ここには木造阿弥陀如来立像、絹本著^{いくねはんず}色涅槃図、^{わにぐち}鰐口などの町指定文化財がある。



No. 107の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、山田区にある一丁ため池公園でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

9月2日(金)
開会の予定

4・5・6月の主な出来事



春まつり(成田山)



中学校体育祭(岡垣中)



焼酎岡垣 イモ苗の植付



ラブアース・クリーンアップ

編集後記

森山 浩二

公職選挙法の改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。

この議会だよりが皆さんの手元に届く頃には、選挙権が18歳以上に引き下げられて初めての国政選挙となる参議院選挙も終わり、東京都知事選挙のまっただ中だろう。

前東京都知事の政治資金流用問題の第三者による精査報告では、「不適切であるが、違法ではない。」何とも理解しがたい見解だと思ふのは、私だけだろうか。

「疑惑の総合商店」などとの迷言も生まれた。我々、地方議員も選挙権を得た若き有権者の期待に沿うように襟を正し、気を引き締めて活動しなければならぬと思う今日この頃である。

発行責任者

議長 横山 貴子

議会広報特別委員会

委員長 神崎 宣昭

副委員長 平山 正法

委員 西山 美千代

委員 三浦 浩二

委員 森山 浩二

委員 木原 大輔